

# 人類の出現と大河の文明

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

今日の問い

人類はどのように進化し、大河のほとりにどんな文明を生んだのだろうか。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

## 1 人類の出現

人類の進化

えんじん  
猿人

約700万年前にアフリカに現れた、最も古い人類。

だせいせっき  
打製石器

石を打ち欠いてつくった、旧石器時代の道具。

しんせっき  
新石器時代

磨製石器や土器を使うようになった時代。

最も古い人類は、約700万年前にアフリカに現れた**猿人**といわれる。約200万年前には、火や言葉を使うようになったと考えられる**原人**が現れた。さらに約20万年前には、現在の人類の直接の祖先である**新人**(ホモ・サピエンス)がアフリカに現れ、世界各地に広がっていった。

人類は長い間、石を打ち欠いてつくった**打製石器**を使い、狩りや採集をして食べ物を得ていた。この時代を**旧石器時代**という。約1万年前になると、石を磨いた磨製石器や、食べ物を煮たりたくわえたりできる土器が使われ始め、農耕や牧畜も始まった。この時代を**新石器時代**という。

## 2 大河のほとりの文明

古代文明

ぶんめい  
エジプト文明

ナイル川のほとりに生まれた文明。

ぶんめい  
メソポタミア文明

チグリス川とユーフラテス川の流域に生まれた文明。

こうこつもんじ  
甲骨文字

中国の殷でつくられた、漢字のもとになった文字。

農耕や牧畜が広がると、紀元前3000年ごろから大河のほとりに文明が生まれた。ナイル川のほとりの**エジプト文明**では**ピラミッド**がつけられ、**象形文字**や太陽暦が使われた。チグリス川とユーフラテス川の流域の**メソポタミア文明**では、くさび形文字や太陰暦が使われ、ハンムラビ王が**ハンムラビ法典**を定めた。

インダス川の流域には**インダス文明**が生まれ、計画的な都市モヘンジョ=ダロがつけられた。中国では黄河や長江の流域で文明が生まれ、黄河流域の**殷**では、占いの結果を記した**甲骨文字**や青銅器がつけられた。これらの文明では王が人々を治め、文字や暦などが生み出された。

| 文明       | 大河            | おもな特色              |
|----------|---------------|--------------------|
| エジプト文明   | ナイル川          | ピラミッド・象形文字・太陽暦     |
| メソポタミア文明 | チグリス川・ユーフラテス川 | くさび形文字・太陰暦・ハンムラビ法典 |
| インダス文明   | インダス川         | 計画的な都市(モヘンジョ=ダロ)   |
| 中国文明     | 黄河・長江         | 殷の甲骨文字・青銅器         |

### 問いへの答え

人類は約700万年前にアフリカで猿人として現れ、原人、新人へと進化した。打製石器を使う旧石器時代のあと、約1万年前には磨製石器や土器を使い、農耕や牧畜を行う新石器時代になった。紀元前3000年ごろからは、ナイル川・チグリス川とユーフラテス川・インダス川・黄河などの大河のほとりに文明が生まれ、文字や暦がつけられた。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

